

1 交通事故発生状況

(1) 平成23年中

	H23年	H22年	増減数	増減率
発生件数(件)	152	179	-27	-15.1%
死者数(人)	0	0	±0	0.0%
負傷者数(人)	205	245	-40	-16.3%
物件事故(件)	889	1,057	-168	-15.9%
当て逃げ	96	91	+5	+5.5%

《特徴》

- 人身、物件事故を合わせて1日平均で約3件発生している。
- あて逃げが増加し、全体の約1割を占めている。
- 時間帯別～午前8時から午後零時までが約4割
- 道路形状、路線別～単路(直線)が約4割で、国道128号が全体の半数を占めている。
- 当事者の年齢層別～第1(加害)・第2当事(被害)者ともに高齢者が約3割を占めているが、第1当事者では30歳代、第2当事者については高校生が増加傾向にある。
- 事故類型別～追突が約4割、次いで出会い頭による事故が約2割を占める。
- 原因別～前方不注意、安全不確認が圧倒的で、全体の約8割を占める。
- 飲酒運転の検挙については、11件で前年比マイナス1件とほぼ横ばいである。

(2) 平成24年2月末現在

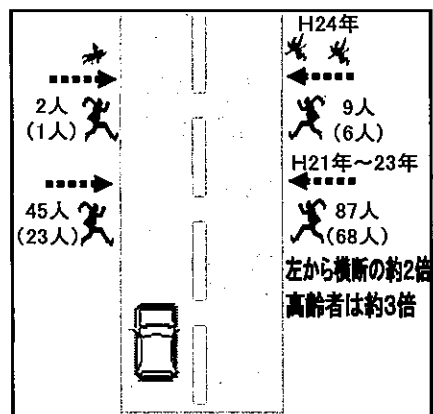
	H24年2月末	H23年2月末	増減数	増減率
人身事故(件)	30	29	+1	+3.4%
死者数(人)	0	0	±0	0.0%
負傷者数(人)	39	45	-6	-13.3%
物件事故(件)	198	145	+53	+36.6%
当て逃げ	20	10	+10	+100.0%

《特徴》

- 人身、物件事故を合わせて1日平均で約3件発生しているが、物件事故が急増している。
- 時間帯別～午後4時から午後6時までが約3割
- 道路形状、路線別～国道128号の単路(直線)が半数を占める。
- 当事者の年齢層別～第1(加害)・第2当事(被害)者ともに高齢者が約3割を占めている。
- 事故類型別～追突が約4割であるが、次いで右折時における事故が増加している。
- 違反別～前方不注意、安全不確認が全体の約6割を占める。
- 物件事故が急増し、中でもあて逃げが全体の約1割を占めている。

[参考]

道路横断中の死亡事故



注:()内は高齢者数を示す

平成24年2月21日現在、県内における交通事故死者数32人中14人(43.8%)が歩行中であり、平成23年同期と比べ6人増加し、14人中13人が道路横断中である。車両が直進時の道路横断中死者11人のうち、右からの横断が9人、左からの横断が2人となっており、右からの横断が8割を占める。

☆ 軽傷事故の被害者となった高齢者からのアンケート結果～夜間の右から左の横断18人(平成22年調査)～

- ・ 左右を見なかった 1人 5.6%
- ・ 左右を見たが見えなかった 6人 33.3%
- ・ 車は見たが、先に渡りきれんと思った 3人 16.7%
- ・ 車は見たが、相手が止まってくれると思った 7人 38.9%
- ・ その他 1人 5.6%